

* 編集後記 *

本号は、「災害復旧で使用されるジオシンセティックス技術」の特集号として編集しました。横田様には、災害に対してジオシンセティックスを活用して立ち向かうことの必要性も含め、ジオシンセティックス業界の将来を展望して頂きました。

災害復旧工事の場合、いかに短い工期で復旧できるかが大きな課題となります。緊急・応急復旧工事に適した工法や資材を技術報文で紹介頂きました。加えて、現状復旧よりも、より安全・安定に復旧する「強化復旧」の事例も紹介頂きました。

近年、想定外の豪雨、台風、あるいは地震による災害が多発しております。本特集号が、災害復旧対策に役立てば、幸甚です。

末筆ながら、コロナ渦で大変な中、原稿を執筆頂いた皆様、編集に御協力頂いた方々に心より感謝致します。また、皆様のご健勝とコロナ渦が早く治まることを祈念しております。

本号担当：片山 隆、西村 淳、土橋和敬

I G S 日本支部編集委員会(名簿)

委員長	木幡 行宏	室蘭工業大学大学院 工学研究科
幹事	西村 淳	三井化学産資(株) 事業本部
幹事	梶尾 孝之	太陽工業(株) 建設事業統括本部
委員	内村 太郎	埼玉大学 工学部
委員	下田 宏治	東洋紡(株) スパンボンド事業部
委員	片山 隆	(株)クラレ 繊維資材事業部
委員	小浪 岳治	岡三リビング(株) 技術開発部
委員	高橋 真一	(株)大林組 技術研究所
委員	土橋 和敬	前田工織(株) インフラ事業営業本部
委員	原田 尚幸	(株)銭高組 技術本部技術研究所
委員	山中 光一	日本大学 理工学部

I G S 日本支部会員現在数 (2020年7月末現在)

個人会員 192名 学生会員 13名 特別会員 19社 合計 224名

令和 2 年7月25日

ジオシンセティックス技術情報 (国際ジオシンセティックス学会日本支部・会誌) Vol.36, No.2
発行：国際ジオシンセティックス学会日本支部

〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 (公益社団法人 地盤工学会内)
事務連絡：〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学 工学部 環境社会デザイン学科 内村研究室内
TEL 048-858-9002 FAX 048-858-3573 E-mail secret@jcigs.org